

消防局予算の概要

1 予算編成に当たっての考え方

「はばたけ未来へ！ 京プラン」重点戦略の、安心・安全と生きがいを実感できる「いのちとくらしを守る戦略」を着実に推進するため、市民や観光客を守る消防救急体制の強化並びに消防団及び自主防災組織をはじめとした地域防災力の更なる向上について、重点的に予算を計上している。

消防体制については、北消防署及び勸修寺消防出張所の移転整備、南部方面統括指揮隊（仮称）の創設、消防用ドローンの導入により、火災や自然災害などあらゆる災害への消防体制の強化とともに、今後も増加が予測される救急需要に対応するため、医療関係者などで構成する救急要請に関する検討会を設ける。また、火災予防対策として、消防検査済表示制度の創設による民泊等宿泊施設の火災予防対策の推進、住宅用火災警報器交換・設置促進など、地域・事業所と一体となって出火・焼死者防止対策などに取り組む。

消防団体制では、学生をはじめとする若年層の入団促進や女性消防団員の活動支援等、地域防災力の中核を担う消防団の更なる充実強化を図る。

自主防災組織については、各自主防災会において策定された防災行動マニュアルを、我が家の防災行動シール等の配布、火災や土砂災害などを想定した訓練を通じて周知徹底し、地域の災害対応力の向上を図る。

また、将来の地域防災活動の担い手作りを推進するため、京都市ジュニア消防団の創設や年代に応じた防災指導カリキュラムに基づき、幼少年の防災教育の充実に取り組む。

2 主な新規・充実事業

<政策的新規・充実事業>

消防用ドローンの導入	9,000 千円
民泊等に対する火災予防対策の推進	10,000 千円

<局枠等新規・充実事業>

南部方面統括指揮隊（仮称）の創設	15,000 千円
救急要請に関する検討会	1,000 千円
住宅用火災警報器交換・設置促進の充実	2,500 千円
京都市ジュニア消防団の創設	1,000 千円

3 消防局主要施策の概要

項 目	主 要 施 策 の 概 要	本年度予算額	前年度予算額
< 消防局所管 >	一般会計合計	千円 22,107,000	千円 21,487,000
1 消防体制		21,343,000	20,748,000
消 防 対 策	消防活動拠点施設の整備 北消防署移転整備 勸修寺消防出張所移転整備 消防水利整備 耐震型防火水槽 100m ³ 級 1基 消防自動車整備 消防ポンプ車, 高規格救急車など 南部方面統括指揮隊(仮称)の創設 <新規> 消防用ドローンの導入 <政策> 救急高度化事業 救急要請に関する検討会 <新規> メディカルコントロール体制の充実 など 応急手当の普及啓発	347,000 25,000 389,000 15,000 9,000 101,000 5,000	334,000 25,000 361,000 - - 99,000 6,000
予 防 対 策	予防消防推進 民泊等に対する火災予防対策の推進 <政策> 住宅用火災警報器交換・設置促進の充実 <新規> 文化財防火対策	58,000 5,000	45,000 5,000
2 消防団体制		745,000	712,000
消 防 団 対 策	消防団管理 消防団員退職報償金 消防団充実強化実行チームの活動支援 京都市ジュニア消防団の創設 <新規> など 消防団活動 消防団員報酬, 出動手当など	323,000 332,000	295,000 332,000

項 目	主 要 施 策 の 概 要	本年度予算額	前年度予算額
	消防団運営 京都市消防団協会交付金	千円 42,000	千円 42,000
	消防団施設補助	25,000	25,000
	消防団車両整備	23,000	18,000
	3 自主防災組織の充実	19,000	27,000
自主防災組織の育成	自主防災組織の災害対応力の充実 年代に応じた防災指導カリキュラムによる、幼少年期からの防災教育の充実 など	19,000	27,000